

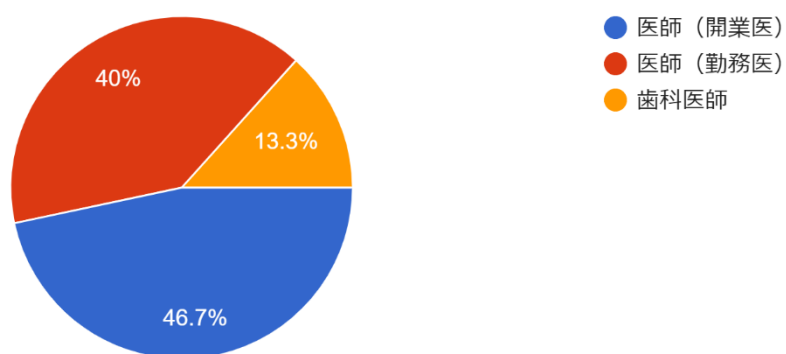
慢性痛診療連携セミナー “非専門家に知ってほしいインターベンショナル痛み治療” アンケート集計結果

2020年2月27日（土）16：00～18：20（オンライン開催）

参加者合計 29 名

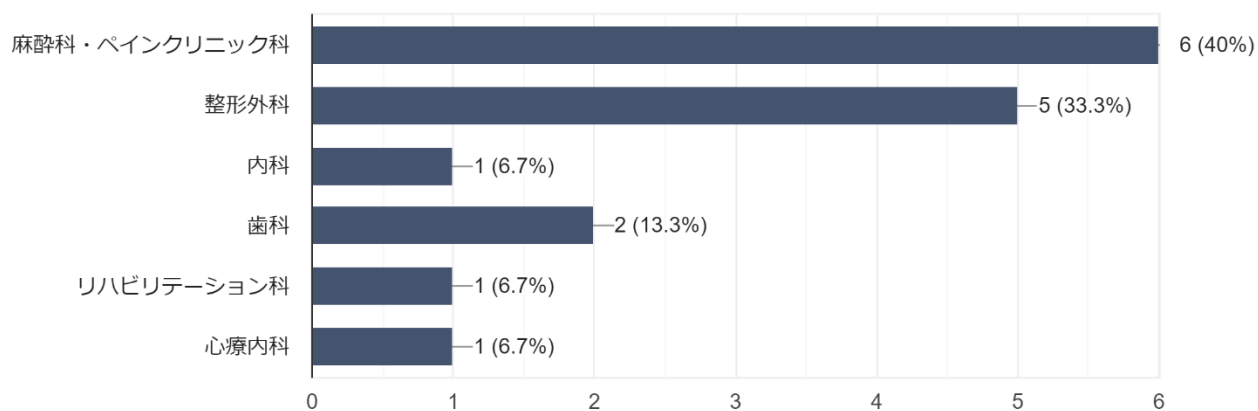
①あなたのご職業を教えてください。

15件の回答



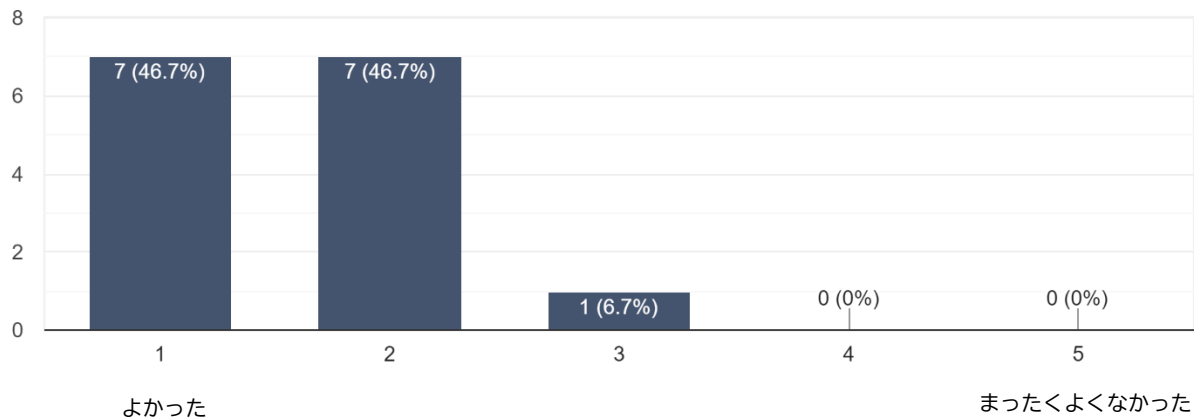
②診療科を教えてください。

15件の回答



③今回のセミナーの感想を教えてください。

15件の回答



④今回のモデル事業セミナーの良かった点を挙げてください。

- ・新しい治療を知りました
- ・比較的平易な内容でありわかりやすかったです。
- ・よく考えられた構成で、セミナー全体としてのメッセージがわかりやすかった。
- ・痛み治療について整理できた。新しい痛み治療について学べた。
- ・インターベンション治療の有効性を具体的に知ることが出来た。
- ・講義はわかりやすい
- ・第1番目の福井先生の構想
- ・ペインクリニックとは、何かを考えてもらう機会だった。
- ・三叉神経ブロックについて知りたかったのでとても勉強になりました
- ・ペインの先生方がどう診療されているのが分かり、紹介し易くなりました。
- ・初心者にもわかりやすい説明でした
- ・疼痛専門コンサルテーションの意義
- ・自分の知らない知見がたくさんあり、為になりました。

⑤慢性の痛み治療におけるインターベンショナル痛み治療の課題・問題について提言をお願いいたします。

- ・ 近くのペインクリニックの先生との連携が必要と思いました
- ・ ペインクリニック科以外にはなじみの薄い専門用語の注釈を入れる、などでしょうか
- ・ 質疑応答の通り。啓蒙と保険制度の整備が急務。
- ・ 患者さんを紹介できる施設が周囲に少ない事。
- ・ リハビリテーション(整形外科)との連携を上手く図ることで、更に治療効果の向上を期待できるような気がします。
- ・ 自然治癒なのかインターベンションの効果なのかわからないこと
- ・ セミナー中にも仰ったように、他院や患者さんに認知が広がればいいなと思います。
- ・ 周知努力不足
- ・ 何処で実施されているかの情報が欲しい。
- ・ 運動療法、薬物療法との兼ね合い、線引きが難しそうですね。安易にインターベンションやると、患者さんが依存的になりますね。
- ・ 地域連携
- ・ このような治療がなされている現状を今後も情報発信していただきたいです。

⑥今後どのような企画を希望されますか。

- ・ 麻薬の取り扱いに関する議題。
- ・ 患者に向けたセミナー
- ・ 疼痛に対する運動療法、認知行動療法について
- ・ 著効例などの症例提示
- ・ 仕方ないですがオンラインより場に参加する方がいいですね。
- ・ どこまで効くの筋膜リリース
- ・ 投与中の薬に対してのブロックの可否を具体的に知りたい。
- ・ 他科の医師、初心者か分かりやすい企画をお願いします。
- ・ 最先端の疼痛治療
- ・ 事前のスライド資料提供は助かります。

⑦本セミナーをどこでお知りになりましたか？__

15件の回答

